

この美しい桜並木を
すべて切つて
本当に良いのでしょうか？

ソメイヨシノと
白樺が混在する並木道は、
日本でもここだけ。

標高の高い所では育ちにくいソメイヨシノと、冷涼な気候でなければ育ちにくい白樺が一体となった美しい並木道は、日本では唯一この場所だけしかありません。おそらく、世界でもここだけでしょう。

シチズン通りの桜並木 (2011年4月撮影)

今なら、半分以上が助かります。

桜の木は切らなくても、根の盛上がりを直し、道路を整備することは可能。

シチズン通りの桜の木が道路工事のため切られましたが、まだ35本残っています。

御代田町役場建設課は一昨年説明会を開き、①根が盛り上がり、通行に危険 ②樹木の診断をしたが、健康な木は無い ③ソメイヨシノは寿命が短く、植え替えの時期 ④維持コストがかかるなどを伐採の理由としてあげ、車道や歩道の全体的な改築を行うと述べました。

この説明には、納得のできない点があります。

① については、木を切らなくても簡単に根を下げ、バリアフリーの道路にできます。詳しくは裏面の「私たちは提案します」をご覧ください。

② 御代田町建設課は樹木研究専門会社「東邦レオ」に依頼し、「ガンマ緑樹木腐朽診断器」で桜を全て診断しました。その結果は、「不健全」と診断された木が12本。「健全に近い」「おおむね健全」が32本。「不健全に近い」と判断された17本の木も「手入れをすれば状態は良くなる」と、街路樹を管理する樹木専門家は話しています。

③ ソメイヨシノは「60年の寿命」と言われていますが、その根拠はなく、「正確な寿命に関しては統計数値がないため不明」と言う専門家もいます。実際、青森県弘前城跡公園には樹齢120年を超えるソメイヨシノがあり、神奈川県秦野市の小学校には樹齢110年、東京都内の砧公園は70年以上などの報告が出ています。「60年の寿命」

早くも伐採された桜
(2010年9月撮影)



桜や白樺が消えた殺風景なシチズン通り (2011年10月撮影)

と決めつけることはできません。

④ 町の言う維持コストとは、剪定や落葉の清掃など樹木の手入れにかかる経費です。しかし、どのくらいかかるかという金額は提示されていません。莫大な金額でなければ、美しい街並みを維持する経費はまちづくりに必要。落葉清掃は高齢者の新たな雇用としても見直されています。

私たちは提案します。→裏へ